

ジャパンレザーアワード 2026

応募要項

目次

1.	応募部門とカテゴリー	2
2.	カテゴリーについて	2
3.	審査について	3
4.	入賞作品について	6
5.	応募資格	6
6.	応募要件	6
7.	応募作品の取り扱いについて	7
8.	「事前エントリー申込み」から「作品の返却」までの流れ	9
9.	提出物	10
10.	各賞と賞金・賞品・特典について	11

ジャパンレザーアワードに参加する理由は、人それぞれです。

自分の技術や感性、コンセプトの現在地を確かめたい。革という素材の新たな可能性に挑戦したい。ブランドや活動への信頼を高めたい。より多くの人に、自身の作品を届けたい。

これまでの受賞者・入賞者からは、そうした思いとともに、「自信につながった」「製作や開発の励みになった」「自身のもので作りを見つめ直す機会になった」といった声が寄せられています。

また、受賞・入賞をきっかけに、ブランドへの信頼性が高まった、お客様や取引先との会話が生まれた、新たな取引先ができた、メディア掲載や地域での認知向上につながった、海外からも問い合わせがあったなど、活動の広がりを実感する声も聞かれています。

ジャパンレザーアワードは、受賞を目指す場であると同時に、革という素材と真摯に向き合い、自身の表現を社会に問いかけ、次の挑戦へとつなげていくための場でもあります。

いまの自分の力を試したい方、新たな発想をかたちにしたい方、自身の作品をより広く届けたい方にとって、本アワードが新たな一步を踏み出す契機となれば幸いです。

ジャパンレザーアワード 2026 事務局

1. 応募部門とカテゴリ

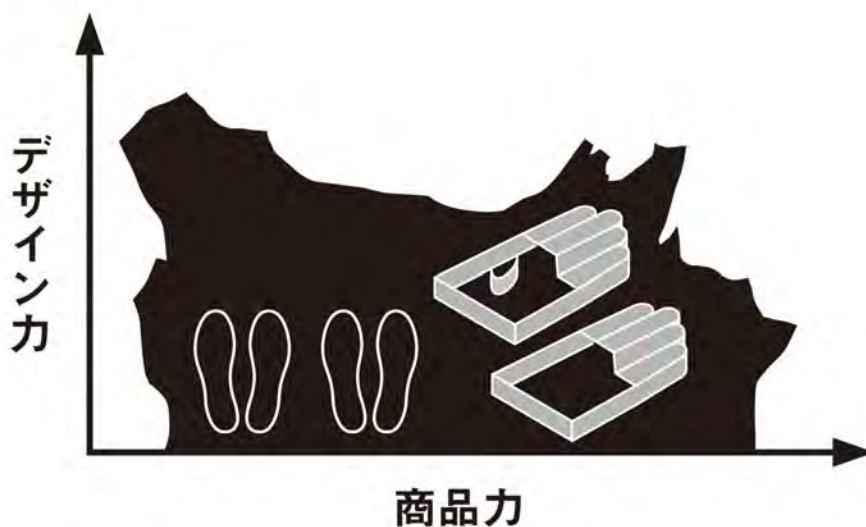
ジャパンレザーアワードは、5つの「応募部門」と、2つの「カテゴリ」で構成しています。ご応募の際は、作品1点ごとに、該当する「応募部門」と「カテゴリ」をお選びください。ただし、学生部門にはカテゴリの設定はありません。

応募部門			カテゴリ	
フットウェア部門	靴やスリッパなど足に履くもの	+	A	ベストプロダクト
バッグ部門	かばんおよびハンドバッグ（ポシェット、ポーチ、サコッシュなどを含む）		B	フューチャーデザイン
ウェア&グッズ部門	ウェア、ベルト、手袋、帽子、財布など身に着けるもの			
フリー部門	家具、インテリア、文具、玩具、その他 （上記3部門に該当しないもの）			
学生部門	高等学校、専門学校、大学などの学生証を有する学生は、上記4部門に該当する作品をご応募いただけます。			

2. カテゴリについて

学生部門を除く各部門では、次の2つのカテゴリのいずれかを選んでご応募ください。カテゴリは、作品の方向性に応じて選択してください。

A：ベストプロダクト



日常生活で使用する革製品で、優れた「デザイン力」と、量産品質が確保された「商品力」のある作品

B：フューチャーデザイン



皮革素材を使用し、今までにない「新規性」が表現されたデザインや機能を提案する作品

3. 審査について

ご応募いただいたすべての作品は、応募時に選択された応募部門とカテゴリに基づき、審査員により審査されます。

まず、審査員による個別審査により入賞作品を選出し、その中から協議審査により、各賞受賞作品およびグランプリを決定します。

審査員は、デザイン、ファッション、プロダクト、流通、スタイリングなど、各分野で専門的な知見を有する8名程度を予定しています。

なお、審査会は非公開で実施しますが、革製品に関する専門的な見地からご助言いただくため、関係団体（全日本革靴工業協同組合連合会／一般社団法人日本バッグ協会／一般社団法人日本鞆協会など）から技術アドバイザーを3名程度お招きする予定です。

① 審査員（敬称略・あいうえお順）

審査員長

長濱 雅彦 2017年度から当アワード審査員長を務める

東京藝術大学美術学部教授／専門はプロダクトデザイン。日経デザイン記者を経て長濱デザインオフィス設立。グッドデザイン賞、KSP賞、イエローペンシルなど受賞多数。近年は次世代の生活支援ロボットのデザイン研究などを行っている。

審査員

有働 幸司 2016年度から当アワード審査員を務める

ファッションデザイナー。東京モード学園卒業後、株式会社BEAMS入社。退社後、ロンドンに留学。帰国後、国内ブランドの立上げに参加。その後独立し、FACTOTUMをスタートさせる。現在、モード

学園の特別講師も務める。

佐藤 泰行 2021 年度から当アワード審査員を務める

婦人靴・婦人雑貨バイヤー（株式会社三越伊勢丹）。マーチャンダイジング部にて婦人雑貨の開発から販売に至るまでのマーケティングを行う。これまでに、銀座三越にて日本のなめし革・革製品の催事、商品開発、インスタライブ配信などのディレクションを手掛けてきた。2026 年 4 月、伊勢丹立川店で「ジャパンレザーアワード受賞者によるオーダー会」を開催。

中山 路子 2016 年度から当アワード審査員を務める

ファッションデザイナー。2007 年より MUVEIL としてスタートを切る。2012 年「ギャラリーミュベール」をオープン。2013 年よりグランマをミューズにしたジュエリーブランド「グランマティック」のディレクションを手掛ける。

廣田 尚子 2020 年度から当アワード審査員を務める

デザインディレクター／ヒロタデザインスタジオ代表／女子美術大学教授。ビジネスデザインを立脚点に、企業戦略・インナーブランディング・プロダクトデザインまで企業の成長戦略をトータルに手掛ける。RED DOT DESIGN AWARD、IF Design 賞、グッドデザイン賞他受賞多数。

政近 準子 2024 年度から当アワード審査員を務める

パーソナルスタイリスト。東京スタイル（デザイナー）を経てイタリアへ移住。帰国後に個人向けスタイリングサービスを提供する「ファッションレスキュー」を設立。著書 12 冊。

山田 菜々子 2026 年度から当アワード審査員を務める

東京藝術大学准教授。空間設計・施工会社での実務、多摩美術大学テキスタイルデザイン専攻専任講師等を経る。染織分野を基盤に、素材の特性と制作技法に深い知見を持ち、作品制作、教育、国際交流展をはじめとする展示活動を通じて、ものづくりの可能性を多面的に探究している。

若杉 浩一 2020 年度から当アワード審査員を務める

プロダクトデザイナー／インテリアデザイナー／ソーシャルデザイナー。武蔵野美術大学、クリエイティブイノベーション学科教授に 2019 年 4 月より着任。1959 年熊本県天草市生まれ。九州芸術工科大学工業設計学科卒業。

② 審査基準

学生部門を除く各部門の「ベストプロダクト賞」「フューチャーデザイン賞」、学生部門の「最優秀賞」、「アーティストックデザイン賞」は、それぞれ次の観点から審査されます。

また、「グランプリ」は、より一層の展開が期待できる意欲的な 1 作品に対して、これらの受賞作品の中から選出します。

ベストプロダクト賞

デザイン力、商品力の2つの観点から総合的に作品を審査し、評価されます。

【デザイン力】	魅力的なデザイン性が感じられるか 素材の良さ、特徴を活かしているか 使いやすさなどの機能性が高いか
【商品力】	商品の魅力と量産品質の両立が図られているか 高い水準の量産品質と完成度が認められるか 新たな市場性を有するか

フューチャーデザイン賞

次の観点から作品を審査し、評価されます。

未来の市場を形成する、【新規性】を提案する作品であるか

最優秀賞 ※学生部門のみ審査対象となります。

新奇性、発展性の2つの観点から作品を審査し、評価されます。

若々しく、新たな創造性や独創性を感じられる作品であるか【新奇性】
将来的に成長・展開していく可能性を感じられる作品であるか【発展性】

アーティスティックデザイン賞

※原則、エントリー時に審査を希望した方のみ審査対象となります。

- ① 上代（税抜き販売価格）【非公開】
- ② 1か月に生産できる平均個数【非公開】
- ③ 3～5年後のブランド／事業の目標（例：売上高〇円、年間販売数量〇個、主要販路の拡大など）【非公開】
：200文字以内
- ④ 目標達成するための主な戦略・施策（販路開拓、オンライン施策、コラボ企画、資金調達など具体的に）【非公開】
：250文字以内
- ⑤ 想定している主要な顧客層・市場セグメント（年齢・性別・ライフスタイル・地域など）【非公開】
：150文字以内
- ⑥ ブランドとして大切にしている価値観・ストーリー【公開】
：200～250文字程度の目安

[応募フォームでの記載方法]

- ・ 各設問番号とご回答を入力してください。なお、公式ウェブサイトでは設問⑥のみ掲載します。
記載例、①45万円②10個③年間300百万円…④目標達成に向け…など
- ・ 記載文字数は目安ですので、多少前後しても問題ありません。

4. 入賞作品について

昨年度より、審査員が「受賞に準ずる水準」と認めた優秀作品を「入賞作品」として選定しています。

入賞作品は、全応募作品の上位約20%を目安に、複数の審査員による評価を踏まえ、審査員長が決定します。

選定された作品は、受賞作品とともに「受賞・入賞作品展」に出品されるほか、作品写真をプリントした本革を挟み込んだプレート型記念盾を贈呈します。



5. 応募資格

次の条件を満たす方は、性別、年齢、プロ・アマチュアを問わずご応募いただけます。

- ・ 日本国内に在住していること。
- ・ 個人またはグループでの応募であること。
- ・ グループで応募する場合は、メンバー全員の同意を得たうえで代表者を定め、代表者名で応募すること（グループで応募される場合、事務局からの連絡、賞金・賞品の受領などに関する手続きは、原則として代表者を通じて行います）。

6. 応募要件

作品応募を希望される方は、次の応募要件をよくお読みのうえ、同意される場合のみご応募ください。なお、応募された方は、この応募要件に同意したものとみなします。

応募作品は、国産のなめし革またはエキゾチックレザー（ワシントン条約に基づき正しく輸入された革）を、作品表面積の60%以上に使用した作品であること。

ただし、学生部門については、学校から支給された皮革素材を使用した作品も応募可能です。その場

合、本エントリーの「皮革素材の仕入先」欄には「学校支給皮革素材」と入力してください。

- 応募作品のコンセプトやデザインなどは個人またはグループのオリジナルのものであること。
- 応募作品は、国内事業者または国内在住の個人によって製造・製作された作品であること。
- 応募作品は完成品であること。組立てについて、事務局では対応いたしかねます。
- 個人またはグループでの応募作品数に制限はありません。

ただし、同じ作品を別部門や別カテゴリーに重複して応募することはできません。また、同じ型で色違いの作品を複数応募することもできません。

- 審査員長が同一または類似作品と判断した場合、応募を無効とする場合があります。
- 応募作品は、類似作品を含め、不特定多数に公開される他のコンテスト、アワードなどに応募されたことのない作品であること。

ただし、学内・社内など、一部に限られた場で発表した作品は応募可能です。

- 「ベストプロダクト」応募作品については、2025年8月21日以降に製作された作品であること。
- 応募作品に関する知的財産権は応募者に帰属します。

ただし、応募者は、自らの責任において応募作品の権利保護等の措置を講じるものとし、応募作品が第三者の権利を侵害していないことを保証するものとします。

- 応募作品の大きさは、原則として宅配便で取り扱える 180 サイズまでとします。
- 本応募要件に違反した場合、応募、受賞または入賞を無効・取消しとします。
- 各賞受賞者および入賞者は、「受賞・入賞作品展」への応募作品の展示にご協力いただくことが必須条件となります。あらかじめ次の事項を了承のうえ応募ください。

- ・ 作品展は、2026年12月5日(土) から12月13日(日) までの9日間、Rand 表参道にて開催予定です。
- ・ 作品展では、受賞作品および入賞作品を一般来場者が手に取ることのできる状態で展示する予定です。監視員やスタッフを配置しますが、展示期間中に、破損、傷、汚れ等が生じる可能性があります。あらかじめ了承のうえ応募ください。
- ・ 受賞者には取材・撮影ならびに受賞作品紹介小冊子「受賞・入賞作品ブック」、公式ウェブサイト等への掲載にご協力いただきます。

7. 応募作品の取り扱いについて

- ・ 応募作品は、事務局に到着後、作品の確認・撮影・審査・保管等のため、開封および移動を行います。また、作品の保管にあたり、事務局が用意した箱や梱包資材に入れ替える場合があります。その際、応募時に使用された梱包資材は廃棄する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 審査結果の発表後、入賞作品を除く応募作品は、順次応募者へ返却します。受賞作品および入賞作品

は、「受賞・入賞作品展」にて展示し、作品展終了後に順次返却します。

- 審査会では、審査員が応募作品を実際に手に取って審査を行います。そのため、審査の過程で、作品に傷や汚れがつく可能性があります。
- 作品展で使用する什器について、特別な希望がある場合は、入賞決定後に事務局までご相談ください。ただし、ご希望に添えない場合があります。

8. 「事前エントリー申込み」から「作品の返却」までの流れ

ステップ

1	事前エントリー ※作品応募予定者は必須	事前エントリー受付 開始	6月12日(金) 10時
		1. 公式ウェブサイトのエントリーフォームからお申込みください。 2. 本エントリー用の「登録No.」と「パスワード」をお知らせします。	
		事前エントリー受付 締切	7月22日(水) 15時
2	本エントリー 応募作品送付	本エントリー・応募作品受付 開始	7月22日(水) 17時
		1. 公式ウェブサイトのエントリーフォームからお申込みください。 2. 受付完了メールを印刷したものと応募作品を発払いでご送付ください。	
		本エントリー・応募作品受付 締切	8月18日(火) 受付17時
※締切日当日の発送分まで受け付けます。			
3	応募作品公開 (公式ウェブサイト)	応募作品はすべて事務局で撮影し、 公式ウェブサイトで公開いたします。	9月上旬予定
4	審査会 @東京・皮革健保会館	審査会の実施 ※非公開	9月中予定
		審査は、すべての応募作品を対象に審査員が行います。	
5	入賞作品の発表 (公式ウェブサイト)	入賞作品の発表	9月下旬予定
6	入賞作品を除く 応募作品の返却	作品の返却	発表後順次(10月中予定)
		※作品は事務局から発払いにて返却します。同一住所から複数の作品を応募された場合は、原則、まとめて同梱します。	

7	受賞作品の発表 (公式ウェブサイト)	受賞作品およびグランプリの発表	‘いいレザーの日’ 11月03日(火・祝日)
		▼	

8	受賞・入賞作品展 @東京・Rand表参道	作品展 初日	12月5日(土)13時
		[展示作品] 受賞作品を含む入賞作品 60 作品程度を展示	
		[展示場所] イベントスペース「Rand 表参道」(東京都渋谷区神宮前 4-4-3)	
		[展示期間] 12月5日(土)から 12月13日(日)までの 9日間	
		作品展 最終日	12月13日(日)16時予定
▼			

9	受賞・入賞作品の返却	作品の返却／盾、トロフィー (対象者)	終了後順次(12月中予定)
		※作品は事務局から発払いにて返却します。同一住所から複数の作品を応募された場合は、原則、まとめて同梱します。	

9. 提出物

(1) 事前エントリー／エントリーフォームでの入力事項

6月12日(金)午前10時から7月22日(水)午後3時までの間に、公式ウェブサイトのエントリーフォームで次の基本項目をご入力ください。

- 必須 ① 応募部門

- 必須 ② カテゴリー (学生部門を除く)

- 該当者 ③ アーティスティックデザイン賞への審査希望

- 必須 ④ 氏名・フリガナ

- 必須 ⑤ 会社名・屋号または学校名 (個人の場合は「個人」と入力してください)

- 必須 ⑥ 連絡可能な電話番号

- 必須 ⑦ Eメールアドレス

- 必須 ⑧ このアワードを知ったきっかけ

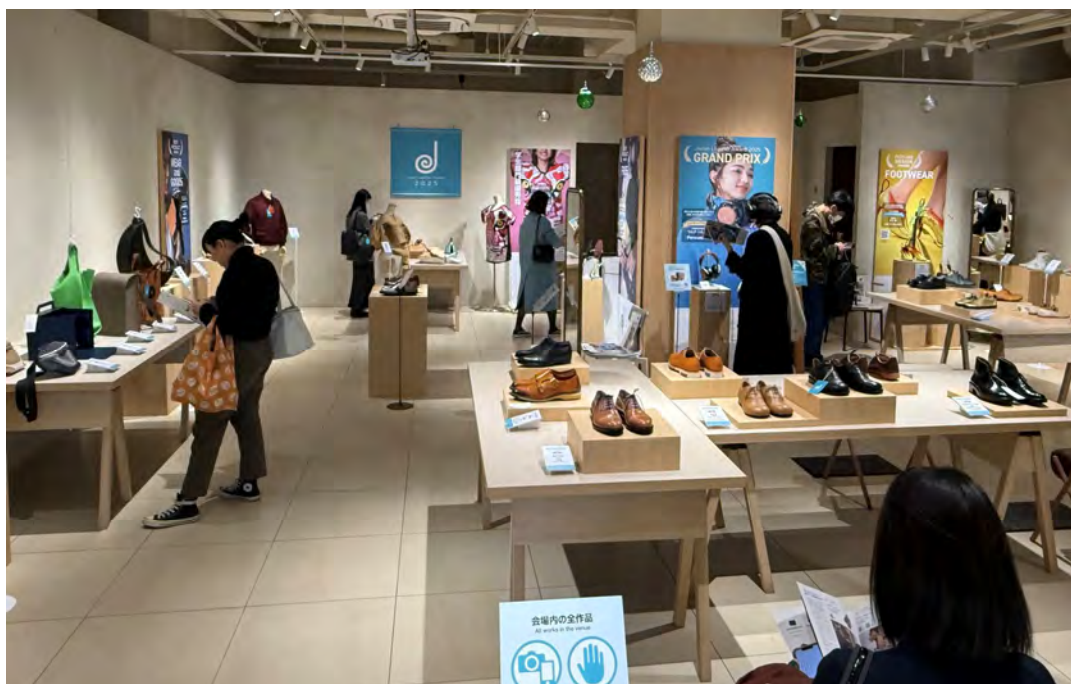
(2) 本エントリー（作品応募）／エントリーフォームでの入力事項

7月22日（水）午後5時から8月18日（火）午後5時までの間に、公式ウェブサイトのエントリーフォームで次の追加項目をご入力ください。

- 必須 ① 作品名
- 必須 ② 作品サイズ
- 必須 ③ 作品コンセプト（300字まで／審査対象）
- 必須 ④ 展示キャプション（全角30字まで／15文字の2段構成）※²
- 該当者 ⑤ アーティスティックデザイン賞について（詳細は5ページ参照）
- 必須 ⑥ 皮革素材の仕入先（会社名あるいは店名）
国産のなめし革またはエキゾチックレザー
（原皮の原産国は日本に限定しない）
- 任意 ⑦ 作品紹介動画 URL（YouTubeのみ）
- 任意 ⑧ Facebook ページ URL
- 任意 ⑨ X アカウント
- 任意 ⑩ Instagram アカウント
- 任意 ⑪ 作品を販売している URL やブランドの URL

※ 「事前エントリー申込み」時の基本項目と異なる場合には、当該箇所の修正をお願いします。

※² 「展示キャプション」は、受賞・入賞作品展において次のイメージのように掲出予定。
デザインは変更する場合があります。



個人情報の取り扱いについて

応募に際してご提供いただいた個人情報は、ジャパンレザアワード 2026 事務局が適切に管理し、募集にかかわる事務処理に利用するほか、作品に関する質問・審査結果の連絡・次年度以降の開催のご案内・アンケート調査のみに使用し、それ以外の目的では使用しません。

(3) 応募作品

応募作品は、本エントリー【必須】後、7月22日(水)から8月18日(火)までの間に、「ジャパンレザアワード 2026」事務局宛てにお送りください。なお、締切日8月18日(火)当日の発送分まで受け付けます。ただし、本エントリー【必須】は所定の期間内に必ず行ってください。応募者は、「ジャパンレザアワード 2026 応募要項」(本書面)に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

10. 各賞と賞金・賞品・特典について

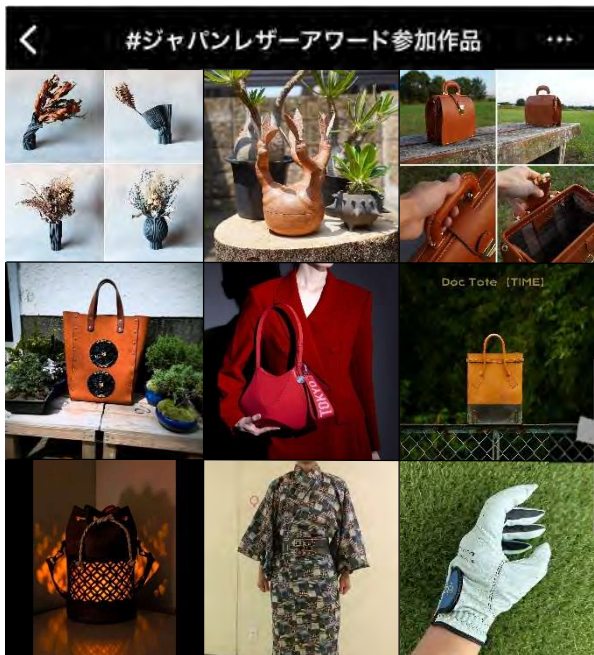
各賞	対象部門	賞金	トロフィー	盾 革のプレート	その他の特典
グランプリ／1作品		30万円	○	○	① 受賞作品紹介コンテンツ【必須】 ・受賞作品紹介動画の制作 ・受賞作品紹介小冊子への掲載 ・公式ウェブサイト 「受賞者インタビュー」への掲載 ② 取材素材の提供【希望者】 ・受賞後に実施する取材で撮影した映像や画像素材を提供します。 ご自身の宣材にご活用ください。 ③ 受賞・入賞作品展での展示【必須】 日程：12月5日から12月13日まで 場所：RAND表参道(東京) 東京都渋谷区神宮前4-24-3 ※作品は、作品展が終了後に随時返却
ベストプロダクト賞／4作品					
	フットウェア部門	10万円	○	○	
	バッグ部門	10万円	○	○	
	ウェア&グッズ部門	10万円	○	○	
	フリー部門	10万円	○	○	
フューチャーデザイン賞／4作品					
	フットウェア部門	10万円	○	○	
	バッグ部門	10万円	○	○	
	ウェア&グッズ部門	10万円	○	○	
	フリー部門	10万円	○	○	
最優秀賞／1作品					
	学生部門	10万円	○	○	
アーティスティックデザイン賞／1作品					
	全部門 ※希望者のみ	10万円	○	○	
入賞／全応募の上位約20%程度					
	全部門			○	受賞・入賞作品展での展示【必須】 上記参照

- ・審査の結果、各賞で「該当作品なし」となる場合があります。
- ・グランプリは「ベストプロダクト賞」「フューチャーデザイン賞」「最優秀賞」「アーティスティックデザイン賞」の中から選出されるので、賞金は実質40万円となります。

【恒例企画】Instagram の応募作品写真を公式ウェブサイトでご紹介します。

提出方法 提出期限 9月4日(金)

- ① 作品送付前に、応募作品が一番に映える写真を撮影する。あるいは、コンセプトに記載した文章では伝えきれない作品のポイントを画像にして作成する。※画像には、必ず応募作品を配置してください。
- ② ジャパンレザーアワード公式アカウント @japanleatheraward をフォローする。
- ③ ご自身のアカウントで、掲載希望の PR 画像のキャプション（説明文）に、登録番号（例 J26A-0000）と「#ジャパンレザーアワード参加作品」を明記し、投稿する。



【お願いと注意事項】

- 投稿する SNS は、応募者本人が管理する Instagram であること。
- 自己PRを目的としているので、いわゆる鍵付きアカウントは受け付けません。
- レザーアワードに不適切または好ましくないと判断した写真は、予告なく掲載を削除します。
- 事務局では、掲載希望の PR 画像をダウンロードし、ウェブサイトに掲載することに同意されたものとみなします。



公式ウェブサイト「応募作品」ページでの掲載例

お問い合わせ先

一般社団法人日本皮革産業連合会（JLIA）
ジャパンレザーアワード 2026 事務局
公式ウェブサイト お問い合わせフォーム
award.jlia.or.jp

tel. 03-3827-1991 / fax. 03-3827-1995



応募作品の送付先

〒113-0031
東京都文京区根津 1-1-19 根津宮本ビル 9F
株式会社ザッツコーポレーション内
ジャパンレザーアワード 2026 事務局

8月18日
当日発送
受付有効

【注意】輸送や審査・展示中に、過失の有無に関わらず、作品が破損したり、傷ついたり、汚れたりする可能性があることを、あらかじめ了承のうえ応募ください。また、そのような事態について主催者および事務局は一切責任を負いかねます。

※「割れ物（作品の付属品含む）、ナマモノ（不完全な鞣し状態の皮を含む）、強い臭気が発生するもの」は、受け付けません。